


 RI会長  
ゴードン R. マッキナリー

世界に希望を生み出そう

まるがめ

## 週報

2023.11.2  
Vol.61  
№15  
(2920)
 会員数 55名 出席者41名・欠席者10名・免除会員10名  
欠席者 秋山憲・有家・林・麻田・松山・齋賀・和泉享・松村・高岡  
内海・一会員

前々回出席率 63.3% (10/12)

## MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会長 福田 洋子  
幹事 尾崎 浩太郎  
会報委員長 稲田 達典

## お知らせ

- 11月のプログラム  
2 (No.1)-客話  
9 (No.2)-クラブフォーラム、野球RC杯  
30 (No.3)-ガバナー補佐公式訪問

- 他RC例会変更

- ニコニコBOX;  
祝誕生月・祝結婚月  
四宮君  
濱中様遠方よりありがとうございました  
大西君

&lt;ニコニコ会計累積/¥127,000&gt;

- がんばるBOX;  
濱中様をお迎えして  
ありがとうございました  
福田様

&lt;がんばる会計累積/¥137,000&gt;

例会場・事務局

丸亀市塩飽町50-3 丸亀プラザビル

## ■会長挨拶

10月23日、香川第二分区の会長幹事会に参加してきました。会場は観音寺グランドホテルでした。まず、ガバナー補佐の発表、各ロータリークラブを訪問して違いがよくわかりましたと、例会の進め方での相違点をお話してくれました。そして、ひとり2分の持ち分で発表、皆さん結構ざっばらんに今の自分のクラブのことを話してくれました。今回、皆さん変えたいでも、難しい。いまのままではいけないもっと居心地のいいクラブに変えていかなきゃいけない。えっという言葉もありましたが、いろいろ話を聞くことができました。うちのクラブの例会数が減ったことについては、皆さんとても関心をよせられていて、簡単にできたのですかといろいろな質問がありました。私もはっきりと返事をして、これからの変化に参考になればいいなと思いました。今年度のガバナー補佐は、昭和50年生まれの安藤さん、尾崎幹事と同一年です。若いです。以前、私が幹事として出席した時とずいぶん会長幹事会の雰囲気が変わっていました。若返りですかね。

## ■理事会報告

## ・12月、1月のプログラムについて

1月25日(木)の例会プログラム「細則変更に関する内容の協議」に関して、例会数以外の事案について協議する予定。事前に、12月の理事会にて役員・理事に修正が必要な箇所があれば提案していただき、理事会内にて修正内容の骨子を作成する。

## ・2月以降の例会プログラムについて

2月25日(日)に丸亀RC主管で開催するPET、DTTSに関して、2月1日(木)にPETS、DTTSに関する説明を行う(予定)。

・社会奉仕委員長より、3月9日(土)に開催される善行表彰式に関して、9時30分集合～12時30分解散とする報告。食事はなし。

・福田会長より、11月30日(木)のクラブアッセンブリーの説明。

## ■例会事業;客話;濱中弘次様

「うっかりミスはなぜ起こるか？」

古川さんとは同じ小豆島の出身でもありますが、NTTと電柱という仕事の関係で知り合って20年以上お付き合いさせていただいています。さて、今日は私の仕事でもあります安全管理について、ヒューマンエラーをいかに防止するかというお話をさせていただきます。

安全には手間と時間を要するのでお金がかかります。費用対効果を重視する現場には薄い意識かもしれません。しかしひとたび事故が起きるとそれはとても大きなロスになります。

よく安全教育という言葉聞きますが、これがお題目、飾りになってしまったのでは意味がありません。現場と管理者、現実と理論が共に育つ安全共育でなければなりません。しかしこの両方を実際に理解している人はとても少ないのが現実です。労働安全衛生法には様々な基準が定められていますが、それらがきちんと理解され、守られていない現実がしばしば見られます。高所とはそのくらいの高さを指すのか、悪天候とはそのような基準なのか。それらを遵守していたかどうかで、万が一事故が起こった場合の補償は大きく変わってきます。当たり前だと思っていることが正確に理解されていない事例として、交通標識や信号などの認識についてあげられます。

(裏へ続く)



2023.11.2  
Vol.61  
No15  
(2920)

安全の最大の敵は安全という言葉があります。これまで事故が無かったから、という理由で作業に慣れてしまうことが大きな事故に繋がる事例は多く見られます。基本を忘れても仕事ができってしまう場合が多々みられますが、安全作業とは当たり前のことを当たり前にすることで、マニュアル、作業手順の遵守が重要です。そして、そのマニュアルを実行してもらうには、なぜそうなっているのかの理由を明示することが必要です。マニュアルは実際に使われて始めて完成するものです。ここに2つの黄色い円があります。どちらが大きく見えますか？よくある錯覚の例で、両方が同じ大きさであることを皆さんすでにご存知かと思いますが、やはり小さな円に囲まれているものの方が大きく見えますよね。このような錯覚以外にも、人によって認識が異なるという場合があります。具体的に作業の指示を与えても、それを受け取る側が内容を誤解する場合があります。さて、「氷が溶けたら〇〇になる」皆さんはこの空欄に何を入れますか？大抵の人が「水」と答えるのですが、「春」という答えが入る場合もありますよね。安全に特効薬はありません。愚直に基本通りに基本動作を行うことが大事で、それにはやる気と根気と勇気が必要です。どうか今日のお話を聞いた皆さまが改めて普段の作業が基本通りにマニュアル通りに行われているかあらためて見直して、事故を予防しこれからも安全に過ごしていただきたいと思います。